

2009年4月1日

各位

ブルーウェーブ株式会社

企業における人材研修の現状

オリックスグループの研修専門施設「クロス・ウェーブ」でアンケートを実施

研修専門施設「セミナーハウス クロス・ウェーブ」を全国5ヵ所で運営するブルーウェーブ株式会社では、現在の企業研修実態を把握するため、当施設を利用いただいた企業・団体などにアンケートを初めて実施しました。有効回答数は328社です。

アンケート概要

実施期間：2008年11月1日～2009年1月31日

調査対象：上記期間に「セミナーハウス クロス・ウェーブ」を利用した企業(法人)

調査方法：調査用紙による記入式

サンプル数：328社(法人)

< サンプル企業内訳 >

業種別

製造業	流通・サービス業	その他(農水、電気ガス、労組、団体)
117社	157社	54社

社員数別

1～499人	500～2,999人	3,000人以上	無回答
87社	133社	95社	13社

< 施設別内訳 >

クロス・ウェーブ 東中野	クロス・ウェーブ 府中	クロス・ウェーブ 船橋	クロス・ウェーブ 幕張	クロス・ウェーブ 梅田
52社	67社	98社	47社	64社

調査結果まとめ

- 企業研修のトップ3は新人社員研修、中級管理者研修、若手社員研修 (Q1)
- 自社研修施設の所有率は全体で32%と3分の1弱 (Q2)
- 際立つ中規模企業での人材研修への取り組み (Q3、Q4)
- 研修予算は2年前に比べて「増加」が「減少」の3倍、特に中規模企業で増加 (Q3)
- 製造業は宿泊型研修、流通・サービス業は日帰り型研修が多い (Q4)
- 日帰り型研修で利用する施設は「社内施設」が67% (Q5)
- 宿泊型研修で利用する施設は「研修専門施設」が82% (Q6)
- 外部の研修施設を選ぶ際、「アクセスの良さ」、「料金」、「研修・食事・宿泊一体型による便利さ」、「設備・研修機器が充実」が4大チェックポイント (Q7)
- 研修プログラムは「社内」対「社外」の比率がほぼ6:4 (Q8)
- 研修講師には「社内講師」と「外部専門講師」を併用 (Q9)
- 研修講師として起用したい著名人には新人社員研修はイチロー氏、幹部向け研修は野村克也氏 総じて目立つスポーツ関係者 (Q10)

Q1. どのような研修を実施していますか。(複数回答)

【企業研修のトップ3は新人社員研修、中級管理者研修、若手社員研修】

- ・研修テーマは多岐にわたるが、テーマ別ランキングは下表の通りで、新人社員研修、部課長研修、若手研修など階層別研修がトップ3。4位の初級管理者研修までは半数以上の企業が取り組んでいる。
- ・新人研修は72.9%の企業が実施、特に社員数500人以上の企業では80%以上に及んでいる。入社以前に行う内定者研修についても、3,000人以上の大企業では半数を超える企業(50.5%)が実施している。
- ・全般に規模の大きい企業ほど多くのテーマに取り組んでいるが、特に規模による差が目につくのは、ビジネススキル研修、トップマネジメント研修、内定者研修、自己啓発、キャリア開発研修、ライフプラン研修などとなっている。
- ・全体的に製造業の方が研修機会が多いが、内定者研修、各種セミナー、業務改革・システム開発研修では流通・サービス業が上回っており、コンプライアンス研修では拮抗している。

	全体	製造	流通・サービス	その他	0~449人	500~2,999人	3,000人以上
1位 新人社員研修	72.9%	86.3%	72.6%	44.4%	50.6%	82.7%	83.2%
2位 中級管理者(部課長)研修	61.9%	82.1%	57.3%	31.5%	51.7%	60.9%	72.6%
3位 若手社員研修	57.9%	69.2%	57.3%	35.2%	42.5%	60.9%	69.5%
4位 初級管理者(主任/係長)研修	50.0%	64.1%	48.4%	24.1%	29.9%	54.1%	64.2%
5位 ビジネススキル研修	38.4%	45.3%	36.3%	29.6%	28.7%	32.3%	55.8%
6位 コンプライアンス研修	36.3%	38.5%	39.5%	22.2%	21.8%	38.3%	45.3%
7位 中途採用者研修	35.4%	40.2%	38.2%	16.7%	20.7%	37.6%	44.2%
8位 営業職研修	34.5%	41.9%	34.4%	18.5%	29.9%	30.8%	43.2%
9位 評価者研修	33.2%	42.7%	30.6%	20.4%	19.5%	34.6%	44.2%
10位 トップマネジメント研修	32.3%	40.2%	31.2%	18.5%	21.8%	21.1%	55.8%
11位 内定者研修	32.3%	33.3%	36.9%	16.7%	18.4%	29.3%	50.5%
12位 各種セミナー	31.1%	22.2%	31.8%	48.1%	24.1%	26.3%	44.2%
13位 専門的な技術研修	30.2%	38.5%	28.7%	16.7%	21.8%	26.3%	43.2%
14位 社内募集による自己啓発研修	29.6%	36.8%	28.0%	18.5%	11.5%	25.6%	49.5%
15位 キャリア開発	26.8%	33.3%	22.9%	24.1%	11.5%	24.8%	42.1%
16位 ライフプラン研修	26.2%	35.9%	18.5%	27.8%	6.9%	25.6%	44.2%
17位 マーケティング研修	22.9%	25.6%	22.3%	18.5%	17.2%	14.3%	38.9%
18位 財務・会計研修	21.3%	23.1%	19.7%	24.1%	14.9%	15.8%	32.6%
19位 トレーナー研修	20.7%	23.1%	21.0%	14.8%	12.6%	15.0%	35.8%
20位 人事・労務研修	16.2%	19.7%	14.6%	14.8%	8.0%	13.5%	23.2%
21位 業務改革/システム開発研修	11.9%	10.3%	13.4%	11.1%	10.3%	6.8%	22.1%
22位 その他	8.8%	5.1%	7.6%	20.4%	10.3%	8.3%	8.4%

Q2. 研修施設を持っていますか?(単一回答)

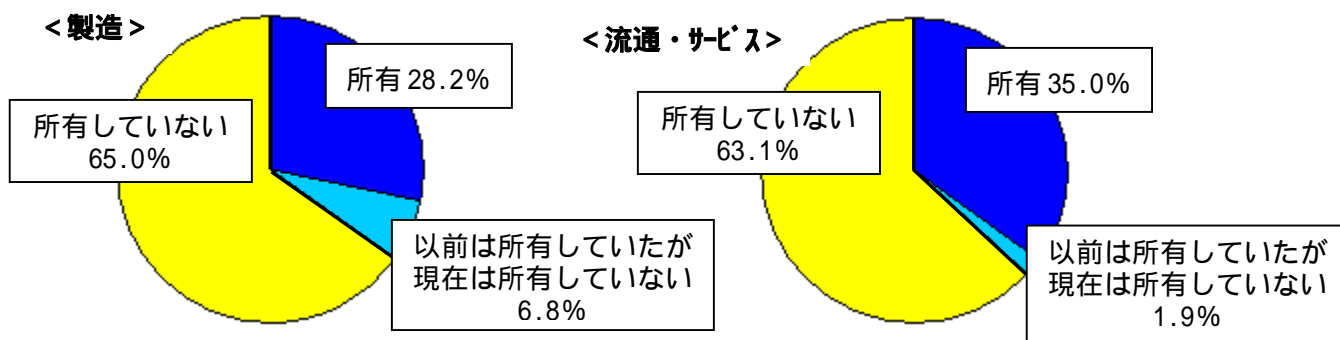
【自社研修施設の所有率は全体で32%と3分の1弱】

- ・自社研修施設の所有率は全体で3分の1弱(32%)。
- ・業種別では、流通・サービス35.0%、製造28.2%と若干の差が見られるが、「以前は所有していた」流通・サービス1.9%、製造6.8%を含めるとその差は1.9%と接近する。
- ・社員数別では、規模が大きくなるほど所有率は高く、3,000人以下と以上では20%ほどの差が見られ

る。ただし3,000人以上でも47.4%と半数を切る。

- ・「以前は所有していた」と答えた企業は3,000人以上の大企業で9.5%。大企業・製造業ほど外部利用に切り替えたところが多いと見られる。

	所有している	以前は所有していたが現在は所有していない	所有していない	無回答
全体	32.0%	4.3%	62.8%	0.9%
製造	28.2%	6.8%	65.0%	0.0%
流通・サービス	35.0%	1.9%	63.1%	0.0%
その他	31.5%	5.6%	57.4%	5.6%
0～449人	20.7%	1.1%	77.0%	1.1%
500～2,999人	27.1%	3.0%	69.9%	0.0%
3,000人以上	47.4%	9.5%	42.1%	1.1%
無回答	46.2%	0.0%	46.2%	7.7%



Q3. 2年前と比べ、研修予算に変化はありますか？(単一回答)

【研修予算は2年前に比べて「増加」が「減少」の3倍、特に中規模企業で増加】

- ・研修予算は2年前に比して「増加」企業が37.5%で、「減少」12.5%の3倍。
- ・特に製造業では46.2%と半数近い企業が「増加」と回答。
- ・社員数別では500～2,999人の中規模企業での「増加」が47.4%と際立っており、3,000人以上では増減が接近。

	増加	減少	変化なし	無回答
全体	37.5%	12.5%	42.1%	7.9%
製造	46.2%	11.1%	40.2%	2.6%
流通・サービス	35.7%	13.4%	39.5%	11.5%
その他	24.1%	13.0%	53.7%	9.3%
0～449人	33.3%	5.7%	50.6%	10.3%
500～2,999人	47.4%	6.8%	39.8%	6.0%
3,000人以上	30.5%	23.2%	38.9%	7.4%

Q4. 「宿泊型研修」と「日帰り型研修」の割合を教えてください。(単一回答)

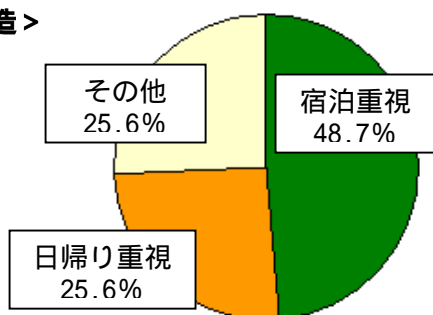
【製造業は「宿泊型研修」、流通・サービス業は「日帰り型研修」が多い】

- ・全体的に「宿泊型研修」(38.4%)と「日帰り型研修」(39.6%)はほぼ拮抗。

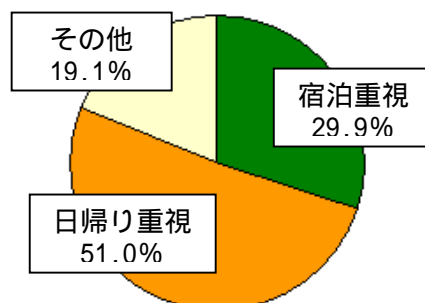
- ・業種別ではっきりとした差が見られ、製造業は「宿泊型研修」(48.7%)、流通・サービス業は「日帰り型研修」(51.0%)を実施する傾向にある。流通・サービス業では、宿泊の時間がとりにくいといった事情があるものと思われる。
- ・社員数別では、500~2,999人の中規模企業で宿泊重視傾向が見られ、Q2の研修予算の結果も勘案すると、中規模企業での人材研修への取り組みが際立っている。

	宿泊型研修を重視	日帰り型研修を重視	宿泊型=日帰り型	無回答
	38.4%	39.6%	11.0%	11.0%
製造	48.7%	25.6%	14.5%	11.1%
流通・サービス	29.9%	51.0%	8.9%	10.2%
その他	40.7%	37.0%	9.3%	13.0%
0~449人	31.0%	47.1%	11.5%	10.3%
500~2,999人	45.9%	36.1%	9.0%	9.0%
3,000人以上	35.8%	41.1%	12.6%	10.5%

<製造>



<流通・サービス>



Q5. 「日帰り型研修」を実施する施設を教えてください。(複数回答)

【日帰り型研修で利用する施設は「社内施設」が67%】

- ・日帰り型研修で利用する施設は「社内施設」が67.1%、社外利用は「研修専門施設」(37.5%)、「貸会議室」(29.9%)、「ホテル」(19.5%)の順で、「研修専門施設」は、ホテルの倍近い利用。
- ・日帰り型研修でも社外を利用するケースが多いのは、使い勝手のほかに集中力を高めるためと思われる。

社内施設	研修専門施設	貸会議室	ホテル	その他
67.1%	37.5%	29.9%	19.5%	5.5%

Q6. 「宿泊型研修」を実施する施設を教えてください。(複数回答)

【宿泊型研修で利用する施設は「研修専門施設」が82%】

- ・宿泊研修では、「研修専門施設」の利用が82.3%と8割以上を占める。
- ・次に多いのは「ホテル」の40.2%で、「社内施設」の利用は23.8%にとどまっている。

研修専門施設	ホテル	社内施設	貸会議室	その他
82.3%	40.2%	23.8%	7.0%	5.5%

Q7. 社内施設以外の研修施設を利用する際に重視する点を教えてください。(複数回答)

【外部の研修施設を選ぶ際は、「アクセスの良さ」、「料金」、「研修・食事・宿泊一体型による便利さ」、「設備・研修機器が充実」が4大チェックポイント】

- ・外部の研修施設を選ぶ際のポイントは、「アクセスの良さ」(82.3%)、「料金」(73.8%)、「研修・食事・宿泊一体型による便利さ」(68.0%)、「設備・研修機器の充実」(55.5%)、いずれも半数以上の企業が挙げた重視点で、決め手となっていることがうかがえる。

	アクセスの良さ	料金	研修・食事・宿泊一体型で	設備/研修機器が充実	収容人数が大きい	静かな環境	専任のスタッフがいる	その他	無回答
	82.3%	73.8%	68.0%	55.5%	26.2%	21.3%	10.7%	3.0%	0.4%
製造	98.3%	80.3%	80.3%	65.8%	34.2%	29.1%	17.1%	0.9%	0.0%
流通・サービス	76.4%	73.9%	63.1%	50.3%	20.4%	17.8%	7.0%	1.9%	2.5%
その他	64.8%	59.3%	55.6%	48.1%	25.9%	14.8%	7.4%	11.1%	1.9%
0～449人	75.9%	63.2%	56.3%	50.6%	12.6%	20.7%	9.2%	0.0%	2.3%
500～2,999人	85.0%	75.9%	73.7%	57.9%	25.6%	24.8%	9.0%	2.3%	0.0%
3,000人以上	84.2%	81.1%	73.7%	57.9%	38.9%	21.1%	13.7%	4.2%	2.1%

Q8. 研修プログラムはどこが企画しますか。(複数回答)

【研修プログラムの企画は「社内」対「社外」の比率がほぼ6：4】

- ・研修プログラムは、社内で企画しているケースがやや多く、一部社外も含めたアウトソーシングとの比率は6：4(63.4%:44.8%)といった状況。3,000人以上の大企業で外部委託の比率が増しており、中規模で自前派が目立つ。

	社内	一部社外	全て社外	その他	無回答
	63.4%	42.4%	2.4%	1.5%	1.2%
製造	63.2%	47.0%	2.6%	0.9%	0.0%
流通・サービス	61.1%	41.4%	2.5%	1.9%	0.0%
その他	70.4%	22.2%	1.9%	1.9%	0.0%
0～449人	63.2%	31.0%	2.3%	0.0%	3.4%
500～2,999人	65.4%	28.6%	3.0%	3.0%	0.0%
3,000人以上	61.1%	36.8%	1.1%	1.1%	0.0%

Q9. 研修講師にはどのような方を起用することが多いですか。(複数回答)

【研修講師には「社内講師」と「外部専門講師」を併用する】

- ・「社内講師」と「外部専門講師」の起用はほぼ拮抗しているが、テーマによって使い分けられていると思われる。会社規模が大きくなるほど社内講師の比率も高まっており、3,000人以上の大企業では、外部専門講師と全く同じ比率になっている。

	社内	外部専門講師	著名人	業界キャリアパー	その他	無回答
	71.3%	74.7%	3.4%	4.0%	2.4%	4%
製造	78.6%	86.3%	4.3%	4.3%	1.7%	3.4%
流通・サービス	66.9%	68.8%	1.9%	3.2%	1.9%	5.1%
その他	68.5%	66.7%	5.6%	5.6%	5.6%	3.7%
0～449人	58.6%	65.5%	6.9%	5.7%	5.7%	5.7%
500～2,999人	71.4%	75.9%	1.5%	1.5%	2.3%	4.5%
3,000人以上	81.1%	81.1%	3.2%	6.3%	0.0%	1.1%

Q10. 研修講師として起用したい著名人を誰ですか？(フリーアンサー)

【新入社員研修はイチロー、幹部向け研修は野村克也 総じて目立つスポーツ関係者】

- ・希望する講師名をフリーアンサーで記入してもらったが、回答数は少なく、複数の企業から名前が挙げられたのは、新人研修向けではイチロー（メジャーリーガー）、松岡修造（元プロテニスプレーヤー）、福島正伸（㈱アントレプレナーセンター代表取締役）の3名。
- ・幹部研修向けでは、野村克也（プロ野球チーム監督）、茂木健一郎（脳科学者）、カルロス・ゴーン（日産自動車CEO/ルノー会長兼CEO）、大前研一（経営コンサルタント）、船川淳志（グローバルインパクト代表パートナー）、王 貞治（プロ野球チーム監督）の6名で、特に野村克也を上げた企業が6社に及んだ。（敬称略）

新入社員研修向け講師

イチロー	3人
松岡 修造	3人
福島 正伸	2人

幹部研修向け講師

野村 克也	6人
茂木 健一郎	3人
カルロス・ゴーン	2人
大前 研一	2人
船川 淳志	2人
王 貞治	2人

最近の研修傾向

セミナーハウス クロス・ウェーブ セミナーハウス

運営部門

部門長 阿部俊一（あべ としかず）談

アンケートを実施した11月～1月に比べ、現在はさらに景気の悪化が深刻化していますので、来年度の研修計画や予算に若干影響が出ているようです。

研修所利用企業の業態については、製造業は減少傾向ですが、食品をはじめとした流通・サービス業などの内需型産業は研修を強化する傾向にあります。企業研修の中でも、新入社員研修・若手社員研修・中級管理職研修などの階層別研修は、若干縮小傾向にあるものの、企業研修の定番で、業種や企業規模、景況に関係なく実施する企業が大半です。

特に近年増加傾向にある研修は、企業の注目度の高いコンプライアンス研修の他、リタイア後に向けたライフプラン研修やキャリア開発研修といった自己啓発型の研修で、「個」を重視した研修への注力傾向が見られます。ライフプラン研修に関しては、比較的社歴が新しく若い人が多い流通・サービス業に比べ、社歴のある製造業が積極的です。

自社研修所については、バブル以降減少傾向であり、景気悪化の影響を受けてこの状況はさらに強まりそうです。そうした中で、クロス・ウェーブのような宿泊施設を伴う研修専門施設への需要は高まっていると受け止めています。なお、当施設利用の7割はリピーター企業です。

ブルーウェーブ株式会社 概要

<本社>東京都港区浜松町2-4-1

<設立>1991年8月

<代表者>金谷 彰大

<株主>オリックス株式会社 100%

<主な業務>研修施設・ホテルの運営事業

<セミナーハウス クロス・ウェーブ>

東中野（東京都中野区） 府中（東京都府中市）

船橋（千葉県船橋市） 幕張（千葉県千葉市）

梅田（大阪市北区）

<ブルーウェーブイン>

札幌（札幌市中央区） 浅草（東京都台東区） 四ツ橋（大阪市西区） 広島（広島市中区）

小倉（福岡県北九州市） 鹿児島（鹿児島市山之口町）

<その他ホテル>

ホテルJALシティ羽田東京（東京都大田区） ホテルリゾリックス車山高原（長野県茅野市）

【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス不動産株式会社 社長室：永井 : 03-3435-3411